



平成30年度 茨木市文化芸術推進市民会議 (結果レポート)

日時:平成31年3月27日(水)

午後7時～午後8時30分

場所:男女共生センター ローズWAM

研修室501・502

1 参加者(7人)

茨木市音楽芸術協会・オワゾリール会、茨木市合唱連盟、茨木美術協会、茨木市舞踊協会、茨木市郷土芸能保存会、市民活動推進屋、茨木市文化振興財団

2 会議の進め方

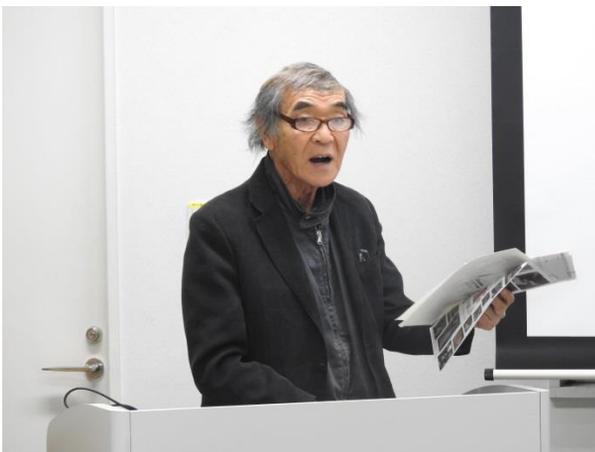
発表&座談会形式

3 会議内容

(1) 各団体からの発表

各団体の活動内容のPRや現在の課題などを10分で発表

・発表者



- ①茨木市文化振興財団
- ②市民活動推進屋
- ③茨木市音楽芸術協会
・オワゾリール会
- ④茨木市合唱連盟
- ⑤茨木市美術協会

(2) 座談会

主な内容

○事業のコラボレーションについて

- 市役所の玄関前で楽器の演奏や合唱ができれば、多くの市民に触れる機会となり、各団体の新たな活動の場になると考えている。
- 音楽とアートがともに協力して出来ることはあると思う。芸術という広い分野でみると様々な可能性が広がっている。

○茨木市郷土芸能保存会について

- 小学生に教えるなど、勧誘はしているが、踊りが難しいこともあって、継続して参加してもらえていない。年々、会の人数が減少しており、存続していくのが厳しい状況である。
- 例えば、伝統芸能という広い枠でイベントをすれば、詩吟や邦楽など、全体として盛り上がるのではないか。

○練習する環境について

- 市内に防音の部屋が少ない。新施設では、防音の練習部屋や楽屋の設置をお願いしたい。



4 さいごに

今回は、各団体からの発表と座談会を行いました。

発表を通して、各団体の現在の取り組みや成功事例、課題などの情報共有を図ることが出来ました。

座談会では、発表で感じたことや疑問点を確認したほか、各団体の事業をより良くするためのアドバイスや意見交換を進めました。

今後も市民会議を様々な市民文化芸術団体の交流の場と位置付け、市民の誰もが気軽に文化芸術を楽しむことができる機会を整え、「みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち」という将来像の実現に向けて引き続き取り組んでいきますので、皆さんよろしく願いいたします。

ご参加いただいた皆さんありがとうございました！